

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S16	施策名	ペーパーレス化の拡大
担当部課	市長公室情報課	関係部課	議事課・行政課・財政課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等		合理的・効率的な行政運営の推進

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 合理的・効率的な行政の運営を推進していく中、なるべく会議で使用される紙の量を少なくしていく取り組みである。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員等が紙媒体を使用する業務
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 決裁の簡素化やペーパーレス会議を導入し、ペーパーレス化を推進することによって、コストの削減、業務効率の向上、セキュリティ対策強化を行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		ペーパーレス会議の拡充					
	R2年度(2020)		R3年度(2021)		R4年度(2022)		中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	成果・目標
	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)		紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)		紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)		紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	
	費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	
	ペーパーレス会議システム賃借料	396千円	ペーパーレス会議システム保守業務	102千円	ペーパーレス会議システム保守業務	102千円	ペーパーレス会議システム保守業務	102千円
	開催会議数・実績		開催会議数・見込み		開催会議数・見込み		開催会議数・見込み	
	(延べ) 68 会議	(延べ) 70 会議	(延べ) 80 会議	(延べ) 90 会議	(延べ) 100 会議			
	紙削減枚数・実績		紙削減枚数・見込み		紙削減枚数・見込み		紙削減枚数・見込み	
	(延べ) 25,734 枚	(延べ) 26,000 枚	(延べ) 30,000 枚	(延べ) 34,000 枚	(延べ) 37,000 枚			

目標・成果推移等②	施策に係る取組②		議会のICT化の実施					
	R2年度(2020)		R3年度(2021)		R4年度(2022)		中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	成果・目標
	ICT化の検討 議案等のペーパーレス化の試行		ICT化の方針決定 議案等のペーパーレス化の実施		議案等のペーパーレス化の実施		議案等のペーパーレス化の実施	
	費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	
	特になし		特になし		特になし		特になし	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) R1年度よりペーパーレス化及び新型コロナウイルス対策の一環として、Web会議システムの導入の検討を開始した。民間企業等と打ち合わせする際の資料等を印刷せず画面共有を用いて共有することによってペーパーレス化を推進することができる。新型コロナウイルス対策で他団体もWeb会議を導入しており、今後もWeb会議化の浸透に伴いペーパーレス化による紙コストの削減についても増加が期待できる。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) R1年度に実施した職員端末の更新では、ペーパーレス会議の推進のため、デスクトップパソコンからノートパソコンに変更した。これにより気軽な会議でもペーパーレス会議を行うことができるようになった。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ペーパーレス会議では26,000枚近くの紙を削減できた。成果として数字は出てきているが、まだペーパーレス化の余地があると考える。これからペーパーレス化を拡大させる課題としては、現在導入しているWeb会議システムについて、従来のインターネット端末では、Webカメラを使用したビデオ通話をスムーズにできるだけの性能を持ち合わせていなかった点であり、今後見直しが必要である。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ペーパーレス会議システムでは、紙を減少させることによる資料代、資料の印刷、準備、廃棄等にかかる人件費を削減することができる。R2年度では、約60万円削減することができたため、ある程度の効果が出ているといえる。また、Web会議システムは年間57千円の有料アカウントを利用することによって、無料版での制限が解除されることにより、会議が有効的に開催できるため、費用対効果は高いといえる。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) Zoom等のWeb会議システムを使用することによって、職員の業務効率化やペーパーレス化を推進していく。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	引き続き、印刷コストや紙資源使用の削減が図られるよう取り組んでください。 行政改革の重要課題事業第2弾で示したスケジュールに基づき、「議会のICT化の検討、方針決定」を行ってください。 通常の打合せでもWeb会議システムが頻繁に使われるよう、引き続き使用環境の整備や職員への周知に努めてください。
------	--------------------	--

内部意見への回答		
----------	--	--